



## 北海道大学総合博物館企画展示

### 「Lepidoptera 空を舞う昆虫たち チョウとガの世界」の

### 開催について（お知らせ）

**開催概要：**北海道大学総合博物館では第 74 回企画展示「Lepidoptera 空を舞う昆虫たち チョウとガの世界」を開催します。1 階展示室で世界のチョウ 13,600 頭の標本展示、3 階展示室ではチョウとガ約 6,400 頭の標本と、昆虫学関係の図書、文献、北大昆虫学教室開設当時のスタッフ写真（松村松年など）、昆虫学に関する道具、スケッチ等を展示します。

また、開催日前日となる 7 月 1 日（金）午前 10 時より展示のプレス向け公開、午後 1 時 30 分より 1 階「知の交流」コーナーでオープニングセレモニーを執り行います。

**開催趣旨：**「チョウとガ」の仲間を鱗翅目（りんしもく）、ラテン語で Lepidoptera（レピドプテラ）といいます。昆虫は陸上で最も繁栄した生物といわれますが、なかでも花と共に多様に進化したのがレピドプテラです。レピドプテラは、翅に鱗粉を持つこと、口がコイル状のストロー（口吻）になっていることが特徴です。世界に約 50 万種が知られ、アゲハチョウ、モンシロチョウ、ミノムシなど馴染み深い昆虫も含まれます。また絹を作りだすカイコもレピドプテラで、昆虫産業の中心的存在です。マイマイガ、ヨトウガ、アメリカシロヒトリなど農業害虫、衛生害虫としての厄介者もレピドプテラに含まれます。

4 億年の昆虫の歴史の中で、もっとも進化した昆虫「レピドプテラ（鱗翅目）」。北海道大学では、レピドプテラに関する生物学（分類、系統、遺伝子）が長年にわたり研究されてきました。生物としての多様性と、その研究の系譜を、約 20,000 点の標本を通して紹介します。



**日程：** 2011年7月2日（土）～ 10月2日（日）開館時間 9：30～16：30

**会場：** 北海道大学総合博物館（札幌市北区北10西8） JR 札幌駅北口より徒歩10分

**主催：** 北海道大学総合博物館

**後援：** 北海道新聞, 北海道教育委員会, 札幌市教育委員会, 小樽市教育委員会, 江別市教育委員会, 石狩市教育委員会, 北広島市教育委員会, 日本鱗翅学会

**協力：** 北海道三岸好太郎美術館, NPO 法人 EnVision 環境保全事務所, (株)エルムプロジェクト

#### 関連イベント

##### 土曜市民セミナー「葉に潜る昆虫—ホソガ科」

講師：久万田敏夫（元北海道大学農学部教授）

日時：平成23年7月9日（土）13：30～15：00

会場：北海道大学総合博物館 1F「知の交流」コーナー

入場：無料

申込：不要

##### 土曜市民セミナー「世界の蝶の地理分布—展示解説を主体に」

講師：青山慎一（日本鱗翅学会会員）

日時：平成23年8月13日（土）13：30～15：00

会場：北海道大学総合博物館 1F「知の交流」コーナー

入場：無料

申込：不要

##### 土曜市民セミナー「花と昆虫の利害関係」

講師：稲荷尚記（北海道大学総合博物館 資料部研究員）

日時：平成23年9月10日（土）13：30～15：00

会場：北海道大学総合博物館 1F「知の交流」コーナー

入場：無料

申込：不要

**注意事項：** 本学では、構内への車両乗り入れを規制しています。バス・地下鉄等の公共交通機関のご利用をお願いします。

#### お問い合わせ先

北海道大学総合博物館

TEL: 011-706-2658

FAX: 011-706-4029

E-mail: [museum-jimu@hokudai.ac.jp](mailto:museum-jimu@hokudai.ac.jp)

URL: <http://www.museum.hokudai.ac.jp/>